



優建築工房
自宅訪問

一言芳恩

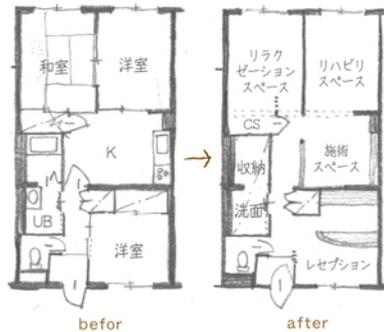
一言芳恩(いちごんほうおん):あの時、ひとこと声をかけていただいた感謝を忘れずに...

横浜市栄区 やつはし整骨院 3DKの賃貸マンションを整骨院ヘリフォーム

若く優しい院長が目指したのは、無機質になりがちな院内を治療に訪れる患者さんが心も体もリラックスできる優しい空間づくり。



やつはし整骨院院長と設計担当の中込(写真上)



入口からの各スペースへの動線とその役割を検討し、施術室内に敷いて仕切りを作ることで、開放感とプライベート感を共存させた患者さんが落ち着く空間になりました。造作ドアやノブ等の細かなディテールがより穏やかな雰囲気を感じ出したと思っています。造作して大成功です。予算350万円以内と開院までの短期間での完工を要望し、打合せも少ない中でしたが満足が行くものが出来ました。

きっかけ
八ツ橋様との出会いはホームページをご覧いただきお問合せくださったのが始まり。弊社を選んでくれた理由をズバリ何うと「3社ほど見積もりを取って見ましたが、他の会社はイメージもつかないまま、これ位かかりそうですかねとザツクリと言うだけでしたが、中込さん達は3人で来て、現地調査中の丁寧なやり取りを見たり、プラン図面も出して細かなアドバイスをくれたりして、この人達なら手抜きはしないなと感じたからです。」と嬉しい回答をいただきました。

ご要望と仕上がり
「イメージは木の温もりのある感じにしたいと言う漠然としたもので何をすれば良いのか全く分からずゼロからのスタートでした。デザインはお任せ状態で、格子を造作し、目隠ししながら木のイメージを付けることや部屋に仕切りをいれること等、素人には思いつかない提案をしてくれました。初めに事例でみて気に入った曲線カウンタを予算超えでも、あきらめきれずにいたら、素材の見直しや造作方法を大工さんと検討してくれ、実現してくれました。全体的にイメージ以上の仕上がりで何より、患者さんが落ち着くと喜んでくれるのが、目指したことだったので嬉しいです。工事中も現場監督の多久田さんへ連絡すると速やかに対応してくれ、不安に思うこともすぐに解消できました。ひと部屋に使った無垢の床の気持ち良さに惹かれ、ゆくゆくは他の部屋も無垢にしたいと思ひ、日々頑張っています!!」



カウンセリングスペース(写真上)

リラクゼーションスペースの片隅の、元は押入れだったところを利用して、少し籠り感のあるカウンセリングスペースにしました。他の部屋から直接見えないように施した木の格子のナチュラルな雰囲気が安心感をあたえてくれるようです。

整骨院のエントランス(写真左)

賃貸では変えられないマンションドア。そのままど入りづらさがあるので、内側にガラスの扉を造り、常に元のドアは開けたまま、外から院内がオープンに見えるようにしました。



リラクゼーションスペース
& カウンセリングスペース



こだわりの丸みのあるカウンター



握ったときに優しい感触の丸太のままの手すり



重量のある器具類設置のため床下地補強も施しました

取材後、やつはし整骨院のHPを拝見したところ「一人一人の時間を大切にじっくりと患者様と向き合いその方に見合った治療計画を立てます」と弊社で大切にしている事と同じ事が語られていました。業種は違いますが同じ考えの方だったからこそ、逆の立場の時に求めるものが合致し信頼していただけたのかと思います。大満足でした。HPが目にとまり一本の電話から始まったこのご縁に感謝です。



本院は予約制です。お電話でのご予約・お問い合わせはこちら

TEL 045-443-5674 受付時間 9:00~21:00

横浜市栄区桂町728-1 セルディ本郷台103

窓周りの寒さ対策

秋が来て肌寒くなってくると、気になるのは家の寒さですね。

寒さ対策のリフォームの中では、お手軽な割に効果が高いのが内窓の取付けや窓ガラスのグレードアップ。今回は、これらの窓周りの寒さ対策工事についてお話したいと思います。

住まいの寒さを改善するには、断熱材の充填や補強、隙間風を防ぐ、床暖房を設置するなど、様々な工事がありますが、一般的に最初に取り組むべきと言われてるのが、窓などの開口部の改善です。

ガラスをペアガラスやLOW-Eガラスやグレードアップすることにより、サッシの内側に内窓を取り付け断熱性能を向上する工事です。比較的に安価で、工事期間も短く、30坪程の一軒家なら全ての窓を工事しても実質3、4日で完了します。住みながらでも負担が少なく工事できるので、それぞれに特徴と注意点があります。

1枚ガラスをペアガラス等に変更すると、断熱性能だけでなく、遮音性能も上がりますので、騒音対策やオーディオルーム等にもお奨めです。

しかし、建物によっては防火に関する規定のためにガラスの変更ができない場合もあります。現状が網入りのガラスですと、多くの場合ペアガラス等に変更できません。また、結露で悩まれている場合、ガラスの改善だけでは、その分の結露がアルミ部分に出るだけで、根本的な改善につながらないことが多いです。サッシの建付けや隙間風が問題な場合も同様です。

内窓は、サッシの内側に樹脂製の別窓を取り付けますので、寒さ対策だけでなく、結露対策にも効果的です。しかし、設置に一定の取付け幅が必要です。そのままで設置が可能か事前確認が必要です。幅が足りない場合は、室内側に、はみ出す形で設



両戸→サッシ→内窓の例
商品にもよりますが約12万円



出窓に内窓を付けた例
商品にもよりますが約7万円

置しますので、カーテン等との干渉や家具の配置などにも注意を要します。

設置後は二重窓になりますので、窓を開けるときは2回鍵をあけることになり、少し面倒になることもありますが必要です。

どちらも現在は省エネ住宅ポイントの対象工事になっていますので、本格的な冬を前にご検討してみてください。

住まいのお手入れ

豪雨のあとの自主点検

住まいの機能と性能を維持し、ながく快適に過ごすためにはお家のメンテナンスは欠かせません。このコーナーでは、毎回、家の部位ごとに日頃のお手入れやメンテナンスのポイントなどをお話したいと思います。



雨漏りによる天井の染み

もともと風雨に晒される住まいですが、ゲリラ豪雨や竜巻など、近年は突発的な豪雨や突風の被害が多く、時には住宅建築としての想定を超えるような自然の猛威に見舞われることも増えました。そんな豪雨などのあとには、皆さんも自宅を自主点検してみてください。早い段階で問題箇所を発見できれば、補修費も安く小規模で済むかもしれません。

「点検のポイント」

- ① まずは、家の外観、雨樋、屋根等を少し離れた位置から見てください。外壁や屋根、雨樋に損傷箇所はないか（雨樋下の地面に穴が見られる時は、樋が壊れて雨が落ちてきているのかもしれない）
 - ② 敷地内の雨水や汚水のマスの確認。極端な量の雨水をさばき切れずに溢れたり壊れる可能性も。
 - ③ 室内の壁や天井にシミがないか。特に2階の天井や2階のない1階の天井にシミ跡がないかを確認。
 - ④ 換気扇や吸気口などから雨水が浸入していないか。突風に押されて雨水が逆浸入することもある。
 - ⑤ 床下や小屋裏に雨水の浸入がないか（確認が安易な場合のみ実施）。特に敷地内の土砂が増え、床下換気口から床下への雨水浸入の例が多く見られます。
 - ⑥ 強風で落ち葉やゴミ等が飛来して詰まっているか。バルコニーの排水ドレンや雨水浸透マス、外流しの排水口などの掃除が必要です。
 - ⑦ 大雨時にブレーカーが落ちる。この場合は雨漏りによる漏電が考えられ、専門業者による調査が必要です。どのブレーカーが落ちたのか、その時使っていた家電や照明が何か、記録をしておきましょう。
- いずれの場合でも、何か変化や異常を見つけたら、早めにご相談ください。

（テレビの映りが悪くなってから気づくこともあります）

住まいに導かれる光 上級編

今まで住まいに導かれる光の「読み方」・「採り入れ方」・「効果」についてお話して参りました。今回は上級編。敷地周辺を十分に読み解く事で、陽当たりの悪い部屋でも予想以上に心地よい空間を計画することができる光の反射利用についてのお話です。

1. 日中の明るい光が入る北側窓



北側トイレ

写真の縦スリット窓は、2階の洗面所に隣接して計画したトイレの北側窓です。天地丈で計画されたスリット窓からの光が室内を十分明るく照らしている事がわかります。太陽は南側にあり、直接、自然光を取り入れる事はできません。なのに、これだけ室内を明るくすることができます。

2. 朝日の入る西側窓



1) 西側リビング

1) 写真は2階西側に計画されたりビングの朝の時間。軒の出と窓の高さを制限する事で、落ち着いた光に満たされた空間になります。外部の軒裏に照らされた光が室内に導かれているのがわかります。



2) 西側玄関

2) 北西の角に計画された玄関ホール。西側に計画された玄関ドア上部のFIX窓からの光と、階段上部に計画されたトップライトからの光が美しい、二方向から入る光で満たされた空間です。季節や時間の変化と共に室内の様子が大きく変わります。

3. 光の反射

日中の明るい光が入る北側窓。朝日の入る西側窓。どちらも隣地に導かれた光の反射を利用した計画です。光の反射を利用した計画のポイントは、光を反射する適切な空地があるかどうかという事。右の写真の建物は北側隣地建物との間はそれ程広くない為、空地は小さいが2階レベルでの光の反射が期待でき、西側隣地建物とは前面道路を介して面している為、空地が大きく、1階レベルでも光の反射が期待できそうという事がわかります。要注意点は、空地にしっかりと光が導かれているかどうかという事。空地があれば良いというわけではなく、光に満たされた空地が必要です。ここでは光の空地と名づけます。季節や時間により自然の光は変化します。その変化を予測しながら、光の空地を見つけ出す事で、光の反射を利用した計画は、直接光を導く事のできない空間に光を届ける事ができるのです。



光の空地

優café

優café は、ご来訪いただくお客様へのお茶のご提供の総称です

打合せは、あれこれ選ぶものがたくさん。理想のおうちに合うものを選ぶことは楽しいけど疲れるものです。そんな時は、カフェのドリンクと日替わりの自家製デザートでリフレッシュしていただけたら嬉しいです。

今年の夏も自家製の梅と紫蘇のシロップをたくさん仕込みましたので、冬に入る頃までご提供できそうです。夏の暑さに爽やかなシロップたちでしたが、ホットの梅も美味しくこれからの季節オススメで〜す。

デザートは手作りのため、ご予約外やご来訪時間によりご提供できないときもございます、ご了承くださいませ。

秋のおすすめメニュー

- 自家製梅シロップのHOT梅
- 柑橘ホットドリンク
- チャイラテ
- 自家製しそソーダー



レアチーズケーキ



パンケーキ



カフェラテ

Kids workshop OPEN

ここに好きな文字や絵をかいてね

打合せは長時間となり、お子様達にとっては辛い時間になってしまうかも知れません。お子様が飽きちゃった！そんな時にご利用ください。今回は「小さな黒板のサインボード」の作成です。サインボードに好きな絵や文字を書いてお部屋に飾ろう！引き続き、うわばきデコパージュ(予約制)も受付中です。

※ご希望の方はスタッフへお声がけください



CLOSE UP
STAFF

設計課
関 寄

秀 和

Sekizaki Hidokazu



中学生の時に工業や製造という分野に興味を持ち、将来はこういった職業に就きたいと思った。設計の道を目指しました。専門学校を経て店舗専門の事務所に入り、イベントのブースデザイン等を担当しました。一番最初に任されたのがファーストフード店のドリンクコーナーのデザインでした。今でもワクワクしたことを鮮明に覚えてます。その事務所は内装のみの請負

だったので次第に建物の構造自体を勉強したいと思うようになり転職しました。そこで学ぶうちに机上でデザインすることが多く、現場の納まりや住む人の気持ちに添う事が後回しになってしまふことが気になり、設計から現場の積算管理までを請け負う事務所へ移り、店舗・マンション・ビル・住宅と一通りの建物を経験してきて、学生時代の課題だった「自分の住みたい家を造るというのが常に心にあり、改めて、

住宅業界で設計だけではなく、お客様と直接会い、要望を聞き、建てるという家づくりの最初から最後まで一貫した作業に携わりたく、営業を置かない当社に入り今年11年目です。お引渡しのときに見せていただけると嬉しくて笑顔が本当に嬉しくて大袈裟でなく、それが私の活力源となっています。休みの日は何か作っていることが多く、その様子はブログにも書いています。見てくれた方が作ってくれたらと思います。設計図なども掲載しています。先日、お客様よりお子さんがブログを見て作っていたと聞き、感激しました！お引渡しができるのがとても嬉しいです。



どんぐりに色を塗り作った“となりのトトロ”



DIYした子供用チェア

能工巧匠

のうこう
こうしょう

うちの腕利きの職人さんを紹介

大工：大庭建築 大庭好昭さん

実際にお家を造りあげていく優建築工房の腕利きの職人さんをご紹介します。今回は大庭建築の棟梁、大庭好昭さんをご紹介します。



細かな取り合いについて打合せ



「女房と砥石は人に貸すな」と言われてるから砥石は貸せないのねという大庭さんとそれをいいことに自分のカンナを研いでもらおうという両角君



宝物の道具



カンナ削り大会の様子

大庭さんは秋田県羽後のご出身。代々家業は大工で曾御爺様は萱葺きの大工さんでした。16歳で横手で大工の住み込み修行を始め、独立した後は、関東で仕事をするようになり奥様のご実家のある秦野市に事務所を構えました。今年で大工暦43年の大ベテラン。現場にお邪魔してお話を伺って参りました。「長いことやってきたけど同じ家はひとつとしてないから、お施主さんが喜んでくれるよう毎日現場へは最高のものを作ろう！と思い、入ってます。お施主さんには工事途中には現場に来てもらって希望があったら相談してみたいです。作る前なら対応できることがあるかも知れないからね。叶わないことも、もちろんあるだろうけど、できるだけお施主さんの満足するものを渡したいと思っているから。」と、志しを優しく語ってくれました。大庭さんの趣味は「鉋削り」昨年は400人以上が出場する神戸で開催された鉋削りの大会に出場してきたそうです。その競技は檜の板を1000分の10以下の透ける程に削り鏡うもの。それには腕も道具も磨き上げなければならず、道具はピカピカで愛情込めて手入れされています。せっかく神戸へ行っても観光は大工道具館を訪れただけで大工道まっしぐら。東日本大震災で道具を津波に流され仕事をしたくてもできない大工さん達へ電動工具など様々な道具を贈り励ます、技だけでなく、心のあったかいうちの自慢の大工さんです。

プレゼント

オーク材のサイドテーブル 5名様へプレゼント

用途はいろいろ、ソファの横にお茶や雑誌を載せて。お庭やバルコニーでのティータイムに。お花などを飾ってインテリアに。折りたたみ式なのでコンパクトに収納可能。トレー部分だけでも活用できるフレキシブルなサイドテーブルです。木のナチュラルな質感はどんなお部屋にも馴染みます。



折り畳み



トレーのみでも



あて先

メール nakamura@yukobo.jp
メールの件名に「プレゼント応募」とご記入ください
ハガキ 〒243-0815 厚木市妻田西 1-20-8 優建築工房
yukoboletter プレゼント係
FAX 046-294-4561
TEL ☎0120-873-312

【プレゼント応募】

①お名前 ②〒とご住所 ③電話番号 ④ご感想やご要望
以上をご記入の上、メール・ハガキ・FAX・TELにてご応募ください。
応募〆切 11/25(水)〆切 ご当選者へ発送をもってお知らせ致します。